

山形県留学生交流推進協議会

国際交流

やまがた

vol.26 | 2015.3

INTERNATIONAL
EDUCATIONAL
EXCHANGE
IN YAMAGATA

山形市の国際交流

巻頭言

～ 歓迎 山形へ留学するみなさん～

山形市国際交流センター所長 國井 康彦



山形市の国際交流活動の一つとして、海外友好姉妹都市との交流があります。山形市は、1963年（昭和38年）の「オーストリア共和国キッツビューエル市」を皮切りに、「オーストラリア連邦スワンヒル地方市」、「中華人民共和国吉林市」、「ロシア連邦ウラン・ウデ市」、「アメリカ合衆国ボルダー市」の合わせて5都市と友好姉妹都市の盟約を締結し、親密な交流を継続しております。これら友好姉妹都市との交流により、相互の市民が世界を知る契機となり、多文化理解の進展とグローバルな人材育成にも寄与するものと期待しております。

さて、山形市の国際交流活動の二つ目としては、留学生の皆さんを含む在住外国人との交流活動があります。山形市内には約1,100人の外国籍の方々が住民登録されており、「留学生」は在留資格別では「永住者」に次いで2番目に多く、現在約130人が生活されていますが、もっともっと多くの留学生に来ていただきたいと思っております。熱い情熱と溢れる好奇心に満ちた留学生の皆さんは、私たちが山形市に居ながらにして、世界の文化や習慣、情報に触れることができるとも貴重な存在です。花笠まつりや各種の国際交流イベントにも参加してください、若い力で大いに盛り上げていただいております。山形市のより良いまちづくりのためにも、今後とも地域コミュニティへ積極的に参加していただきたいと思います。山形市国際交流センターでは、様々なイベントや日本語教室、相談対応や情報提供などを行っておりますので、留学生の皆さんもお気軽に立寄りいただき、是非ご活用ください。お待ちしております。

山形県外国人留学生の現況 (高等教育機関関係)

平成26年10月1日現在

1. 費用別外国人留学生数

※単位：人 ※（ ）内の数字は、女子で内数。

区 分	山形大学	東北芸術 工科大学	東北公益 文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タクキキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コア カレッジ	計
国 費	25 (11)							3 (1)		28 (12)
マレーシア政府派遣	16 (4)							5 (0)		21 (4)
県 費										0 (0)
私 費	161 (85)	9 (4)	0 (0)	1 (1)	15 (11)					186 (101)
計	202 (100)	9 (4)	0 (0)	1 (1)	15 (11)	0 (0)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	235 (117)

2. 国・地域別外国人留学生数

※単位：人 ※（ ）内の数字は、女子で内数。

区 分	山形大学	東北芸術 工科大学	東北公益 文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タクキキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コア カレッジ	計
中 国	92 (46)	2 (1)		1 (1)	5 (2)					100 (50)
韓 国	11 (5)	6 (2)			9 (8)					26 (15)
マレーシア	17 (5)							5 (0)		22 (5)
インドネシア	16 (9)							1 (0)		17 (9)
台 湾	13 (10)				1 (1)					14 (11)
ボ リ ビ ア	8 (1)									8 (1)
タ イ	7 (5)									7 (5)
モ ン ゴ ル	5 (3)							1 (0)		6 (3)
バングラデシュ	5 (2)									5 (2)
ルワンダ	4 (1)									4 (1)
アメリカ	3 (0)									3 (0)
ロシヤ	2 (2)									2 (2)
ラトビア	2 (2)									2 (2)
ベトナム	1 (0)	1 (1)								2 (1)
ブルネイ	2 (1)									2 (1)
ペルレー	2 (1)									2 (1)
ウガンダ	1 (1)									1 (1)
エストニア	1 (1)									1 (1)
オランダ	1 (1)									1 (1)
ドイツ	1 (1)									1 (1)
フィンランド	1 (1)									1 (1)
ポーランド	1 (1)									1 (1)
ミャンマー	1 (1)									1 (1)
ラオス								1 (1)		1 (1)
インド	1 (0)									1 (0)
スリランカ	1 (0)									1 (0)
ベネズエラ	1 (0)									1 (0)
ホンジュラス	1 (0)									1 (0)
リトアニア	1 (0)									1 (0)
計	202 100	9 4	0 0	1 1	15 11	0 0	0 0	8 1	0 0	235 (117)

3. 住居形態別外国人留学生数

※単位：人 ※（ ）内の数字は、女子で内数。

区 分	山形大学	東北芸術 工科大学	東北公益 文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タクキキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コア カレッジ	計
大学の寮等	128 (71)				0 (0)			8 (1)		136 (72)
公営住宅	4 (2)				0 (0)					4 (2)
民間会社の社員寮					0 (0)					0 (0)
民間アパート等	70 (27)	9 (4)		1 (1)	11 (10)					91 (42)
その他					4 (1)					4 (1)
計	202 (100)	9 (4)	0 (0)	1 (1)	15 (11)	0 (0)	0 (0)	8 (1)	0 (0)	235 (117)

Almost like home

Yamagata received me with heavy rain. I had to go to the closest combini and get an umbrella using very basic Japanese. It has been six months now since that night, my Nihongo is improving and the umbrella broke on an unanticipated fall over ice. Before coming, whenever I said I was coming to Yamagata, people told me to beware of the cold weather. Even so, I enjoy the sight of snow falling and during all this time I got to see part of the beautiful natural panorama Yamagata offers as the daily and quiet life of the locals goes by. I can see my

山形大学 地域教育文化学部 教員研修留学生
Patricia Aragaki (ペルー)



father's head on the mountains covered with snow, my grandma in the elderly people selecting vegetables at the super, the sympathy among my friends in the kids returning home from school and the warmth of family in friends sharing honest laughter. Yamagata is not as crowded or commercial as big cities, yet that's why I like it so much, with less noise you come to realize that it is not about the place but the people you meet there and the experiences you can share.

もうひとつの故郷、山形

私は、ソウルから山形に来て今年で4年目になります。毎年、留学生生活を楽しんで過ごしてきましたが、昨年2014年は、私にとって一番記憶に残る、意味のある1年でした。

2012年の春、東北文教大学短期大学部留学生別科に入学して日本語の基礎を学び、2013年に総合文化学科に進学後もずっと日本語を中心に勉強してきました。2年次の日本語ゼミでは、日本と韓国の言葉についての研究を通して、より深く日本語を学ぶ機会を得ました。

留学するまでは、勉強にそれほど興味はありませんでした。けれども山形に来てから日本語の勉強に関心を持ったおかげで、学が楽しさや目標を達成したときの充実感などを知ることができま

東北文教大学短期大学部 総合文化学科2年
梁 海印 (ヤン ヘイン) (韓国)



した。2年次初めは、卒業後の進路として四年制大学編入学と帰国との間でとても迷いました。しかし、日本語の勉強・研究をもっと続けたいという気持ちが強くなり、編入学を決めました。

編入学試験を準備する間、勉強がうまくいかなくてあきらめなくなったこともありましたが、そのときほど自分は幸せな人と感じたことはありませんでした。担任の先生は編入学試験の直前まで指導していただき、友人や後輩など周りの皆も、編入学を決めたときからずっと応援してくれていることがわかったからです。皆のおかげで編入学試験に合格することができ、4月からは富山大学人文学部で学びます。私のもうひとつの故郷、山形にいつかまた戻って皆に会いたいと思います。

鶴岡の楽しさと私

私は日本で勉強するのは夢みたいなことです。以前は、日本に留学することは全然考えたことがありませんでした。でも、運命の道を進んで、今、鶴岡工業高等専門学校で物質の専門を学んでいます。日本に来る前に、2年間マレーシアで準備のため、日本語を習いました。日本に来たのは、2014年4月でした。日本に着いたばかりのとき、とても寒かったです。鶴岡に着くと、もっと寒かったです。気温が高く湿度が高いという私の国と比べると全然違います。そして、鶴岡に稲がたくさん植えられていることにびっくりしました。それだけではなく、山も自然も桜もきれいに見えます。ここはほんとに田舎だと思いました。いつものように、田舎はきつとつま

鶴岡工業高等専門学校 物質工学科3年
ワユディン ビン ワギル (マレーシア)



らないイメージを持っていました。しかし、ここは違います。いろいろな楽しいことができます。例えば、花見とか、山登りとか、アイススケートとか、楽しくやることができます。アイススケートといえば、私は他の留学生のみんなと、酒田でやったことがあります。冬の時期、一番楽しいことは湯殿山でスノーボードをやることです。やっぱり鶴岡はつまらないというより、むしろいい所だと思います。今はもう10ヵ月くらいここにいるので、日本の生活もますます慣れてきました。最も、私はもうすぐ4年生になるから、学年末試験を頑張りたいと思います。そして、日本人の友達を多く作って、日本語をもっとうまく話したいです。

1. 山形県留学生交流推進協議会 第27回総会・第43回運営委員会(合同会議)

第27回山形県留学生交流推進協議会及び同協議会第43回運営委員会が、平成26年11月6日(木)に山形大学にて開催されました。

会議では、文部科学省高等教育局学生・留学生課留学生交流室・坂本秀敬外国人指導専門官から、留学生に係る現状データや文部科学省政策の動向等について説明がありました。

また、社会の変化に対応する本協議会の在り方について意見交換が行われ、本協議会が山形県の国際化の推進と地方創成に一層貢献すべく要項の改正等が検討されることになりました。

少子化の急激な進行によって日本国内の生産年齢人口が大きく減少し始め、さらに山形県でも8割以上の市町村に消滅の可能性がある(有識者でつくる民間研究機関

「日本創成会議」より)等地方の衰退が懸念されており、地域創成が急務となっております。

一方、日本企業の海外進出が加速し、グローバル化を推進する国内人材の確保と育成が喫緊の課題となっておりますが、次世代を担う日本人学生等の海外留学者数が減少しているなど若者の内向き傾向は強く、世界で活躍し地域に貢献する人材の育成が、山形県成長の鍵となっております。

このような状況に鑑み、本協議会が山形県の国際化の推進と地域創成に一層貢献すべく、本協議会要項および同運営委員会要項の改正を行うことで本協議会の機能を強化し、皆様とともに山形県の活性化に貢献できるように取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

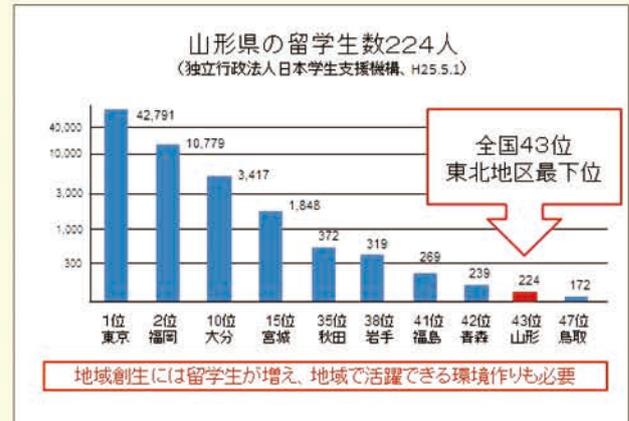
会議資料より抜粋

山形県留学生交流推進協議会
山形県グローバル化推進協議会(仮称)
に発展的に改組

【山形県留学生交流推進協議会】
山形県内における留学生の円滑な受入れの促進と交流活動の推進を図り、地域住民の国際理解に寄与するため、山形県留学生交流推進協議会を置く。
・目的を達成するために、山形県内の留学生の受入れ、交流活動等に関する事項について協議する。

【山形県グローバル化推進協議会(仮称)】
山形県内の高等教育機関等における留学生の円滑な受入れ・派遣の促進と国際交流の推進を図り、地域と地域住民の国際化・国際理解に寄与する。そして、地域の国際化推進に貢献する。

例 1. 県内留学生の円滑な受入れと卒業後の県内での就業支援
2. 国際化教育を受けた日本人学生の県内企業等への定着支援
3. 県内国際化課題解決型学生実習の推進
4. 社会人に対する国際化再教育の提供
5. その他、山形県の国際化に貢献し、協議会が認めたこと



山形県の人口動態予測

	平成23年(2011)	平成47年(2035)
総人口(千人)	1,161	321
65歳以上人口(千人)	321	27.6
高齢化率(%)	27.6	36.3

内閣府：平成24年版 高齢社会白書(全体版)より

山形県の若年女性人口予測(2040年)
県内35市町村の8割の28市町村
→20~39歳の若年女性が5割以上減少
→高齢化で社会保障の維持が困難：「消滅可能性都市」
有識者でつくる民間研究機関「日本創成会議」より

地域の活性化が必要 → **地域創生**
グローバル化



2. 山形県留学生交流推進協議会 留学生事務担当者研修会

今回8回目となる山形県留学生交流推進協議会留学生事務担当者研修会が、平成26年7月18日(金)に、山形大学を会場に開催され、6つの機関から23名が受講しました。

この研修会は、各高等教育機関等の教職員が留学生の資格外活動等についての入国管理局への申請取次を行うための資格を取得し、留学生への便宜を図ることを主目的として開催しているものです。

また、入国管理業務に関する最新の情報が提供される機会でもあり、今回は講師として法務省仙台入国管理局審査部門・白取俊浩上席入国審査官と稲葉直樹入国審査官を迎え、留学生に係る在留関係諸申請や取次制度等についての説明がありました。



3. 留学生と地域との交流事業

昨年度に引き続き、今年度も留学生と地域との交流事業を実施しました。前回開催した3地域(山形市・米沢市・鶴岡市)に金山町を加えた4地域での開催となり、どの地域でも参加予定人数を上回る応募がありました。参加した小学生・外国人留学生・日本人学生は、パネル作成や国旗かるたゲーム等、英語を交えたプログラムを通して笑顔で交流していました。

少子化が叫ばれ、人を含めた物流のグローバル化が当

たり前となった現代においては、山形県の国際化も避けることはできません。将来を担う子供たちに、国や言語が異なっても共に笑いあい交流することができるということを体験し気付いてもらおうと、本事業を昨年度から開始したところです。地域の子供たちが世界へ目を向ける国際理解の好機となるような事業をこれからも継続してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



平成26年11月9日(日) 金山町



平成26年11月22日(土) 山形市



平成26年12月20日(土) 鶴岡市



平成27年1月25日(日) 米沢市

子供たちの感想

外国の人と仲良くなれた。
はじめは英語が苦手できらいだったけど、
今日みたいなことは楽しかった。
普段できないことができてよかった。

留学生の感想

子供たちがとてもかわいい。
小学生と日本人学生と
いい関係を築けた。
自分の国の文化を紹介、
共有できた。

日本人学生の感想

留学生と知り合えるきっかけになって嬉しい。
子供たちがゲームに一生懸命に
なっているところが印象に残った。
留学生や小学生など普段あまり
交流することができない人たちと
交流できたことが良かった。

4. (財)公益財団法人中島記念国際交流財団補助事業(独)日本学生支援機構実施事業 「山形の企業を知り、山形で働こう！」

公益財団法人中島記念国際交流財団補助事業(独)日本学生支援機構実施事業様からの助成を受けて、「山形の企業を知り、山形で働こう！」として次の2つの事業を開催しました。

(1) 留学生のための山形県内企業バスツアー

平成26年9月25日(木)に県内のIT企業、観光業、製造業をそれぞれ1社ずつ訪問し、企業概要説明、留学生OB従業員による体験談、企業・工場見学をしました。アメリカ、中国、バングラデシュ、ボリビア、マレーシア、ラトビア、ロシア人留学生が合計14名参加しました。参加学生は積極的に質疑応答し、日本の企業や仕事について学びました。



(2) 留学生のための就職ガイダンス

平成27年1月12日(月)に山形大学小白川キャンパスにおいて開催し、合計21名の外国人留学生が参加しました。お辞儀の仕方から身だしなみの基本事項、留学生の就職活動での留意点などについて講師から説明のあった後、県内企業に就職した留学生OB2名をパネラーとして招き、就職活動や仕事の経験談について意見交換を行いました。



新会員をお招きしました

山形県立米沢栄養大学

学 長
鈴木 道子



山形県立米沢栄養大学は、2014年4月に新しく開学した、管理栄養士を養成する大学です。豊かな人間性と、幅広く深い教養と知識のうえに、栄養に関する高度な専門知識と専門技術を身に付けた国際的な視野を有する人材を育成し、教育と研究の成果に基づき地域と社会に貢献することにより、県民の健康で豊かな暮らしの実現に寄与することを教育研究上の理念としています。

国際感覚のある学生の育成や国際化に対応した教育研究の展開を目指し、地域の国際交流活動への参加や海外の教育機関等との交流などを、今後展開してまいりたいと考えておりますので、貴協議会や関係機関のご協力をお願いいたします。



国際ロータリー第2800地区
公益財団法人ロータリー
米山記念奨学会

ロータリー米山奨学委員会委員長
大久保 章宏



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。目的は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

ロータリー米山記念奨学会 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



交流風景



外国人留学生交流懇談会
(鶴岡工業高等専門学校)



器の会 (日本の家庭料理を作る会)
(公財) 出羽庄内国際交流財団



市民交流農園ミーティング
(山形大学 農学部)



小白川グローバルカフェ
(山形大学小白川キャンパス事務部)



上杉雪灯籠まつり
(米沢市国際交流協会)



平成26年度工学部外国人留学生懇談会
(山形大学工学部)



餅つき大会
(アースネットワーク米沢)



留学生別科課外活動 (蔵王山頂・お釜にて)
(東北文教大学短期大学部)

山形県留学生交流推進協議会会員名

※順不同・敬称略 ※平成26年11月1日現在

区分	機関・団体名	職名等	氏名	
高等教育機関	山形大学	学長	小山 清人	
	東北芸術工科大学	学長	根岸吉太郎	
	東北公益文科大学	学長	吉村 昇	
	慶応義塾大学鶴岡タウンキャンパス	所長	富田 勝	
	山形県立米沢女子短期大学・山形県立米沢栄養大学	学長	鈴木 道子	
	東北文科大学・東北文科大学短期大学部	学長	鬼武 一夫	
	羽陽学園短期大学	学長	研 攻一	
	鶴岡工業高等専門学校	校長	加藤 靖	
	新庄コアカレッジ	校長	山科 通	
	仙台入国管理局酒田港出張所	所長	八木 良幸	
	山形県	知事	吉村美栄子	
	山形市	市長	市川 昭男	
	米沢市	市長	安部三十郎	
	鶴岡市	市長	榎本 正規	
酒田市	市長	本間 正巳		
経済団体	山形県商工会議所連合会	会長	清野 伸昭	
	山形県商工会連合会	会長	小野木 覺	
	山形経済同友会	代表幹事	熊谷 眞一	
	一般社団法人山形県経営者協会	会長	黒澤 洋介	
	山形県農業協同組合中央会	会長	長澤 豊	
	山形県中小企業団体中央会	会長	山本 惣一	
	(公益社団法人)日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会	会長	長谷川海秀	
国際交流関係団体	(公財)山形県国際交流協会	理事長	相馬周一郎	
	山形県青年海外協力協会	会長	小野寺正人	
	庄内国際交流協会	会長	山口 吉彦	
	山形ロータリークラブ	会長	長谷川憲治	
	山形北ロータリークラブ	会長	柴田津與志	
	山形南ロータリークラブ	会長	鈴木 政康	
	ライオンズクラブ国際協会(332-E地区キャビネット事務局)	地区ガバナー	小林 元雄	
	国際コミュニケーションレディズクラブ	会長	井上みやま	
	(社)米沢工業会	理事長	山崎洋一郎	
	(公財)出羽庄内国際交流財団	理事長	榎本 正規	
	国際日本文化研究会	会長	飯島 武久	
	アースネットワーク米沢	会長	情野 芳明	
	その他	(独)日本学生支援機構東北支部	支部長	伊藤 彰子

山形県留学生交流推進協議会運営委員会委員名

※順不同・敬称略 ※平成26年11月1日現在

機関・団体名	氏名
山形大学 副学長	安田 弘法
東北文科大学・東北文科大学短期大学部 国際教育センター長	阿部 いそみ
山形県商工労働観光部観光経済交流局 経済交流課 国際室長	佐藤 吉彦
山形市総務部国際交流センター所長	國井 康彦
山形県商工会議所連合会幹事	三澤 栄治
山形経済同友会副代表幹事	谷貝 幹夫
山形県中小企業団体中央会事務局長	作田 和典
山形県国際交流協会常務理事	佐藤 和雄
山形県青年海外協力協会理事	吉田 庸一
山形ロータリークラブ幹事	桂木 宣均
山形北ロータリークラブ会長	奥山 忠道
山形大学教育・学生支援部長	矢口 清

高等教育機関等のホームページアドレス

羽陽学園短期大学	http://www.uyo.ac.jp/
慶応義塾大学鶴岡タウンキャンパス	http://www.ttck.keio.ac.jp/
新庄コンピュータ専門学校	http://sca.core.ac.jp/
鶴岡工業高等専門学校	http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/
東北芸術工科大学	http://www.tuad.ac.jp/
東北公益文科大学	http://www.koeki-u.ac.jp/
東北文科大学・短期大学部	http://www.t-bunkyo.jp/
放送大学山形学習センター	http://www.ouj.ac.jp/
山形県立産業技術短期大学校	
[山形校]	http://www.yamagata-cit.ac.jp/index3.html
[庄内校]	http://www.shonai-cit.ac.jp/
山形県立農業大学校	http://ynodai.ac.jp/
山形県立保健医療大学	http://www.yachts.ac.jp/
山形県立米沢女子短期大学	http://www.yone.ac.jp/
山形工科短期大学校	http://www.yit.ac.jp/
山形大学	http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html
山形県	http://www.pref.yamagata.jp/

山形県留学生交流推進協議会 国際交流やまがた /vol.26/2015.3

事務局：山形大学教育・学生支援部国際交流課国際交流室内 所在地：山形市小白川町1-4-12
TEL：023-628-4118 FAX：023-628-4051 E-mail：rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。